

第13回 新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会

日本刀の匠たち

展覧会名： 日本刀の匠たち
会 期： 2023年10月28日[土]～12月17日[日]
会 場： 佐野美術館
開館時間： 午前10時～午後5時(入館の受付は午後4時30分まで)
休 館 日： 木曜日(11月23日は開館)
入 館 料： 一般・大学生1,100円 小・中・高校生550円 * 土曜日は小中学生無料
主 催： 佐野美術館、日本刀文化振興協会、三島市、三島市教育委員会
後 援： 静岡県教育委員会
協 賛： 伊豆箱根鉄道株式会社
協 力： 全日本刀匠会

展覧会の趣旨

佐野美術館は、2023年10月28日[土]～12月17日[日]の期間「日本刀の匠たち」を開催します。

歴史の中で培われた日本刀文化を継承し、創造する、現代の匠たち。新たに生み出された日本刀は、神社仏閣に奉納されたり、美術的に鑑賞されコレクションされたり、子どもの誕生を祝う守り刀として詠えられたりと、幅広い活躍の場を得ています。

本展は、日本刀の文化・芸術の振興を目的とし公益財団法人日本刀文化振興協会が実施している公募展「新作日本刀 研磨 外装 刀職技術展覧会」です。今春第13回のコンクールが開催され、静岡県三島市に初めて巡回します。

展覧会のみどころ

日本刀製作は、高い専門性が求められる、総合芸術です。

刀剣を造る「作刀」、刀身に様々な彫刻を施す「刀身彫刻」、刀身を美しく研ぎ上げる「研磨」、刀身と柄との間に付ける鐔をはじめ刀剣を装飾する金具「刀装具」、刀身と鞘をつなぐ重要な金具・鍔などの「白銀」、刀剣を保管するために収める「白鞘」、装剣金具を付けるための鞘を造る「拵下地」、鮫皮と組紐で柄を巻き上げる「柄巻き」、拵の鞘に漆芸を施す「鞘塗り」、刀剣の外装をプロデュースし製作する「拵」。

本展は、日本刀製作に携わる各分野の職人たちが力を尽くしたコンクール受賞作を展覧します。また、日本刀をスケッチして記録する押形“Sword Oshigata Art”作品もあわせて紹介。ミニギャラリートークや、実演など、現代に生きる刀職者の技を身近に感じられるイベントも盛りだくさんです。

本展会期に合わせ、当館所蔵・寄託の刀剣より、戦国武将・松井康之ゆかりの名物 松井江(重要文化財)や、徳川四天王のひとり本多忠勝の愛槍・蜻蛉切などを特別展示します。

展覧会の主なイベント

- ◆五寸釘でナイフをつくろう 11月23日[木・祝]
- ◆銘切 10月28日[土]、29日[日]
- ◆職人の技実演 11月18日[土]、19日[日]
- ◆刀職者のミニギャラリートーク 10月28日[土]、29日[日]、11月3日[金・祝]、4日[土]、12月2日[土]

広報用画像

本展の紹介記事等を掲載される場合、画像をデータでご提供できます。画像1点のときは1を、複数点のときは1および2～5をご用意します。電話またはメールでご連絡ください。

※画像掲載をする場合、作品クレジットの明記をお願いします。



1. 撮影:トム岸田



2. 研磨/文部科学大臣賞、日本刀文化振興協会会長賞 阿部聡一郎



3. 作刀/経済産業大臣賞 河内一平



4. 白銀/日本刀文化振興協会会長賞 松本豊



5. 刀装具/金賞第一席 川上登

佐野美術館 × 刀剣乱舞ONLINE コラボレーション決定!

「大笹穂槍 銘藤原正真作〈号蜻蛉切〉」「重要文化財 刀朱銘義弘/本阿(花押)〈名物 松井江〉」の特別展示を記念してPCブラウザ&スマホアプリゲーム『刀剣乱舞ONLINE』とのコラボレーション企画を実施します。詳細は佐野美術館公式ホームページ・公式X(旧Twitter)にて順次発表します。



©2015 EXNOA LLC/NITRO PLUS

お問い合わせ

佐野美術館 広報グループ 深沢

〒411-0838 静岡県三島市中田町1-43 TEL 055-975-7278 FAX 055-973-1790

URL <https://www.sanobi.or.jp/> EMAIL koho@sanobi.or.jp